



大阪市
東成区

神路地区防災計画

概要版

防災マップ・避難経路確認しましょう！



内水氾濫危険性少
内水氾濫0.1m～0.5m未満
内水氾濫0.5m～1m未満
①～⑱ 町会番号
①～⑱ 災害時一時集合同所
● 公衆電話
 河川ライブ

災害時避難所
災害時一時避難場所
非常用モータサイレン
同報系防災行政無線
可搬式ポンプ
消防水利

神路自治会館
AED設置
災害時帰宅支援ステーション(コンビニ)
救急病院 外科野崎/八木能神経外科
災害時特設公衆電話

[06-6210-3899]

町会No	町会名	一時集合同所/一時避難場所	災害時避難所	町会No	町会名	一時集合同所/一時避難場所	災害時避難所
1	東四町会	鈴木ホーム前/相生中校庭	相生中学校	10	大今里4第3町会	神路小校庭	神路小学校
2	大今里2第1町会	神路小校庭	神路小学校	11	大今里4第4町会	神路小校庭	神路小学校
3	大今里2第2町会	大今里ふれあい公園	神路小学校	12	神路3丁目第1町会	太平駐車場/相生中校庭	相生中学校
4	大今里2第3町会	大今里ふれあい公園	神路小学校	13	神路3丁目第2町会	第一精工駐車場/相生中校庭	相生中学校
5	大今里2第1町会	大今里ふれあい公園	神路小学校	14	神路3丁目第3町会	宝蔵寺/相生中校庭	相生中学校
6	大今里2第2町会	大今里ふれあい公園	神路小学校	15	神路4丁目第1町会	プラネスベリア新深江前 (旧パナソニック寮)/相生中校庭	相生中学校
7	大今里2第3町会	大今里ふれあい公園	神路小学校	16	神路4丁目第2町会	ライフ新深江店前/神路小校庭	神路小学校
8	大今里4第1町会	神路小校庭	神路小学校	17	東今里パレス町会	パレス緑橋駐車場/神路小校庭	神路小学校
9	大今里4第2町会	神路小校庭	神路小学校				

発行：東成区役所 神路地域活動協議会 令和8年1月

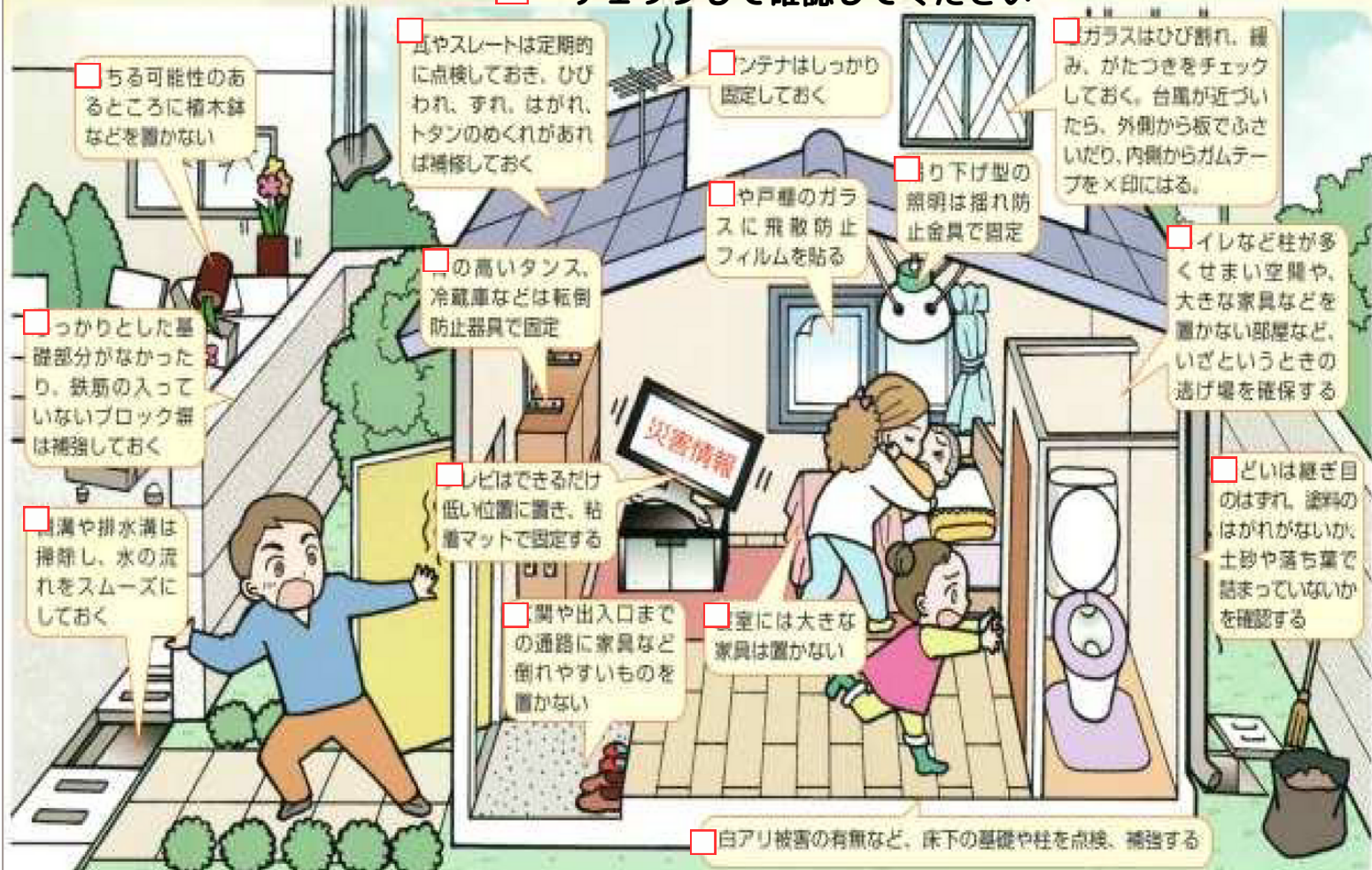
我が家の災害に備えるチェックシート（平時の行動）

災害に備え、身の回りの危険箇所の確認をしておきましょう

地震・風水害に 対する備え

災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外で地震や津波などに遭遇したときなど、自分の周りにどのような危険が及ぶのかを考え、被害をできるだけ少なくするための対策を講じることが重要です。

□ チェックして確認してください



その他

- 寝室のスリッパや靴を常備する。
- 消火器を設置する。
- 住宅用火災報知器を設置している。
- ローリングストックで食品を備蓄する。



共同住宅でのさらなるチェック項目

- 災害に備えて、建物の設備確認をはじめ、エレベーターの応急復旧や排水管の確認手順、居住者への情報発信方法などについてルールを決めておくことが有効です。
- 廊下や階段などの共有スペースに物を置かない。
- 普段の生活で建物に違和感がないか。
- エントランスに障害物がないか。



いざという時には、隣近所や地域での助け合いが必要。隣近所などと顔見しりに！

災害時の情報取得について

災害時には高齢者、子ども、外国人または、屋外にいる住民のみなさまが確実に避難できるように、緊急事態が発生したことを確実に伝える必要があります。特に災害発生直後は混乱し多種多様な情報が交錯した中で、確実な情報を得て判断していく必要があります。

大阪市防災アプリ

大阪市では同報系防災行政無線、スマートフォン用の大阪市防災アプリや緊急速報メールに加えてひがしなり防災情報LINEなどで、より広く情報が伝わるように備えられています。



ひがしなり防災情報LINE

また、町会では神路地域活動協議会ホームページや神路ふれあい会館公式LINEが災害モードに切り替わります。



神路地区の防災情報



<https://kamiji-tikatu.sakura.ne.jp/comm/神路災害発生>



ふれあい会館公式LINE

神路地区での対応

災害発生後3時間後を目処に、自主防災組織が神路小(相生中)に集合して避難所設営(避難受付)や今後の対策や避難所運営に関わります。

＊ご近所のコミュニケーションを図ること、そして町会や地域活動に無理のない範囲で参加することの先に、住民を交えた防災力の向上につながります。

災害伝言ダイヤルの使用方法

1. 【1】【7】【1】をダイヤルします。
2. 音声ガイダンスに従って、録音の場合は【1】を、再生の場合は【2】を押します。
3. 音声ガイダンスに従って、連絡を取りたい方の電話番号を入力します。伝言を録音・再生することができます。
＊暗証番号をつけて録音・再生することもできます。
4. **毎月1日と15日は体験利用ができます。**

避難所開設基準

地震の場合

- ・震度5弱の地震発生
区災害対策本部・「地域災害対策本部」を設置
- ・震度6以上で災害時避難所開設

風水害の場合

- ・(洪水等)警戒レベル3以上が発令されたとき
＊台風等の場合、避難勧告等が発令されていない段階において、一時的な避難所を開設する場合があります。



災害用伝言板 (web171) もあります。

神路小学校災害時避難所

- ・神路地域昇対象地域町会番号②～⑪、⑬、⑮
- ・神路自主防災組織による運用

相生中学校災害時避難所

- ・神路地域の対象地域町会番号①、⑫～⑮
- ・神路・宝栄・片江自主防災組織の共同運用
- ・災害からの一定時間が経過し、避難者数減少に伴う集約段階で、各小学校避難所を閉鎖して集約される
- ・**医師会との連携による災害時の救護所設置**
- ・災害時要支援への対応が可能な福祉拠点
- ・**ペット同伴の避難者集約**



在宅避難

災害時避難所は、倒壊や浸水によって自宅で生活できなくなった場合に避難生活を送るための施設です。災害時、自宅が丈夫な場合は、慣れている自宅で避難生活を送る「在宅避難」を考えましょう。

「在宅避難」ができるように、室内の安全確保(家具の転倒防止など)や備蓄品の備えなど、各自で日ごろから対策を進めましょう。



非常持ち出し品（避難所避難のために用意しておくもの）

非常持ち出し品

「非常持ち出し品や備蓄品などの準備」（大阪府）より

●貴重品

☐ 現金（公衆電話用に10円玉も）

●飲料水・非常食

☐ 缶入り乾パン
☐ 飲料水（500mlペットボトル）

●救急袋

☐ 毛抜き ☐ 消毒薬
☐ ガーゼ（滅菌）☐ 包帯
☐ 脱脂綿 ☐ ばんそうこう
☐ 三角巾 ☐ 常備薬・持病薬など

●衛生用品

☐ マスク ☐ アルコール消毒薬
☐ 体温計 ☐ 台所用洗剤
☐ 手洗い洗剤

●情報・照明

☐ 携帯ラジオ
☐ 懐中電灯（できれば1人に1つ）
☐ ローソク
☐ 携帯電話の充電器・モバイルバッテリー

●生活用品

☐ ライター ☐ 十徳ナイフ
☐ 軍手・手袋 ☐ ロープ
☐ 簡易トイレ※1 ☐ トイレットペーパー
☐ ティッシュペーパー
☐ レジャーシート
☐ サバイバルブランケット
☐ タオル ☐ ウェットティッシュ
☐ 筆記用具 ☐ 油性マジック（太）
☐ 布製ガムテープ ☐ ポリ袋
☐ ラップ（止血・食器覆い用）
☐ 歯ブラシ・歯磨き粉・洗口液

個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

必需品・貴重品類

☐ 預貯金通帳 ☐ 運転免許証
☐ 鍵（自宅・車等） ☐ 健康保険証
☐ パスポート・在留カード・特別永住者証明書
☐ 予備メガネ・コンタクトレンズ等
☐ お薬手帳 ☐ 義歯
☐ 支援プラン（一人で避難することに不安がある方）

赤ちゃん用品

☐ 粉ミルク ☐ 哺乳瓶 ☐ 離乳食
☐ おやつ ☐ スプーン ☐ 着替え
☐ 洗淨綿 ☐ 紙おむつ ☐ ガーゼ
☐ 毛布 ☐ バスタオル ☐ おしりふき
☐ おんぶひも ☐ 玩具 ☐ 母子手帳
☐ ベビーカー

高齢者用品

☐ 高齢者手帳
☐ 予備メガネ
☐ おむつ
☐ 看護用品 ☐ 着替え
☐ 持病薬
☐ おしりふき

女性用品※2

☐ 生理用品
☐ サニタリーショーツ
☐ おりものシート
☐ 中身の見えないごみ袋
☐ 防犯ブザー / ホイッスル

在宅避難のために用意しておくもの

●飲料水・非常食

☐ 飲料水（1人1日3ℓ目安に）
☐ 非常用給水袋・給水タンク
☐ アルファ米 ☐ 乾パン
☐ パン缶 ☐ インスタントラーメン
☐ 缶詰 ☐ レトルト食品
☐ スープ ☐ 味噌汁 ☐ 塩
☐ ビスケット ☐ キャンディ
☐ チョコレート

●衣類

☐ 上着 ☐ 下着 ☐ 靴下

●生活用品

☐ タオル ☐ バスタオル
☐ 毛布 ☐ 雨具 ☐ ラップ
☐ アルミホイル

☐ 皿（紙・ステンレス）
☐ スプーン ☐ フォーク
☐ わりばし
☐ コップ（紙・ステンレスなど）
☐ 卓上コンロ ☐ ガスボンベ
☐ 固形燃料 ☐ 鍋 ☐ やかん
☐ 石鹸 ☐ 簡易トイレ※1
☐ 歯ブラシ・歯磨き粉・洗口液
☐ ドライシャンプー
☐ トイレットペーパー
☐ ティッシュペーパー
☐ ウェットティッシュ
☐ マスク ☐ アルコール消毒薬
☐ 懐中電灯 ☐ 予備電池
☐ 携帯電話の充電器・モバイルバッテリー
☐ 安全ピン

☐ 新聞紙（保温・火種などに）
☐ 使い捨てカイロ

●その他

☐ ブルーシート
☐ キャリーカート（給水所から給水袋や給水タンクを運ぶ際に使用）
☐ 布製ガムテープ（荷物の整理・止血・ガラス等の補修）



非常持ち出し袋

非常持ち出し袋は、玄関近くや車の中、物置など、家屋倒壊の際も持ち出しやすい場所に置きましょう。また外出時の被災を考え、常に持ち歩くカバンに最低限必要な物品の準備も有効です。

